



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2023～2024 年度 高山中央 RC 会長テーマ

親睦～例会に出席しよう～



世界に希望を生み出そう

◆会長 岩本 正樹 ◆幹事 長瀬 栄二郎 ◆会報委員長 井ノ下 雄志 ◆会報担当 鷲塚 英雄

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1338 回	56 名	56 名	43 名	——	76.79%
前々回 1340 回	56 名	56 名	46 名	4 名	89.29%

### ●点 鐘

### ●ロータリーソング

### ●四つのテスト

### ●ゲスト及びビジターの紹介

2023 年度ロータリー米山記念奨学生

房 正雄 様

### ●会長の時間

会長 岩本 正樹

皆さんこんにちは、今期もはや 4 ヶ月が過ぎました。何やら分からず不安だらけでスタートしましたが、皆様のご協力の基、長瀬幹事と共になんとかクラブの主要な行事をこなして参りました。あと残る大きな行事は今月 18 日の地区大会で



ございます。多治見に行って頂ける皆様、ご負担をお掛け致しますが宜しくお願い致します。

本日の例会の担当委員会は水口委員長の米山記念奨学委員会で、米山奨学生の房正雄さんにお越しいただいております。房さん、ようこそおいで下さいました。後ほどの卓話をよろしくお願ひいたします。それに合わせまして、今日は寄付のお願いですが、先月の米山月間と今月のロータリー財団月間に合わせまして、毎年この時期に寄付をお願いしております。金額のことなど担当委員長の方からお話がありますが、今年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

そういう事で早くも 11 月になりました。本日の例会から 1 ヶ月間、来年度、堀口年度の理事役員人事を会場内に掲示させて頂きます。これは来年度の高山中央ロータリークラブの組織作りの第一段階の人事でございます。来月 4 日の 12 月第一例会にて開かれる総会において承認の決議を採る運びとなりますので、皆様ご承知おきを宜しくお願ひ致します。まだ私としてはバリバリに会長の任を

こなしている最中ですが、早くもこの様な話をしなければいけない時期になってしまい、どんどん時間は過ぎていくんだなと少し複雑な気持ちになってしまいました。

さて、話は変わりますが、先月末にはゴルフの行事が 2 回続きました。27 日の金曜日には、ガバナー杯ゴルフコンペの予選が、山田ガバナー補佐率いる美濃加茂ロータリークラブ主催のもと、美濃白川ゴルフ場で開催されました。我がクラブからは、三枝さん、植木さんと私の 3 人で行って参りました。残念ながらと言いますか、予定どおりと言いますか、予選突破とはいきませんでした。濃飛グループ 6 クラブの中では、可児ロータリーがゴルフの質、量とも圧倒している感がありまして、今回も可児ロータリーが優勝、そして準優勝の美濃加茂ロータリーと共に 2 クラブが本戦出場となりました。続いて 29 日の日曜日には毎年恒例の高山 5 クラブゴルフコンペがございました。このコンペには我がクラブからは剣田さん、島さんを始めとする 11 名の方に参加して頂きました。このコンペに関しては、以前は団体優勝する事が頻繁にありましたが、うちのクラブの高齢化と、他のクラブの若年化やゴルフ部の熱の高まりが原因でしょうか、ライオンズクラブ 2 クラブの勢いが凄くて、優勝は高山ライオンズ、準優勝は高山岳城ライオンズ、我がクラブは 3 位という結果に終わりました。ガバナー杯も 5 クラブコンペも年に一度のゴルフ大会で、たかがゴルフでございますが、懇親会等で他のクラブを眺めておられますと、ゴルフはクラブ活動にとって一つのパーツでしかありませんが、クラブのみんなと一緒に優勝目指してゴルフに積極的に取り組んでいる姿勢が、そのままクラブの勢いに繋がっているなど感じとれました。私がこのクラブに入会した当時に島さんが私にこの様なことを言われました。「5 クラブゴルフで団体戦がある以上絶対に優勝を目指さなければダメやぞ」

と、当時の私はそんなにむきにならなくてもそこそこでいいんじゃないかと思っておりましたが、こうして会長を務めさせて頂いて島さんの言葉を思いだして考えてみますに、将来的にも活力あるクラブを維持するためには、どんな事でも他のクラブには負けない強い姿勢を維持して、それを対外的にも示していくことは大事な事なんやと言いたかったんだなと少し理解できた感じが致しました。そういった意味で今回の 2 つのゴルフコンペは少し反省点の残ったゴルフコンペでした。ゴルファーの皆さん来年は優勝目指して頑張りましょう！因みにですが、今回好成績を残した可児クラブやライオンズの 2 つのクラブはゴルフ同好会があって、月に一回クラブのみんなでラウンドする機会があるそうです。親睦という意味でもとても有意義なことだと思いますので、今井ゴルフ部長、我がクラブも来春からでも一度検討してみませんか。という事で今日の会長の時間とさせて頂きます。ありがとうございました。

## ● 幹事報告

### 幹事 長瀬 栄二郎

◎ R I 本部より

- ・ザ・ロータリアン誌

◎ 国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

- ・地区補助金申請についてのご案内
- ・ロータリー財団奨学生募集について
- ・ポリオデーフォトコンテスト応募のお願い
- ・2026-27 年度ガバナー候補者の推薦について

○ 濃飛グループガバナー補佐より

- ・ I M 参加のお礼

< 飛騨高山国際協会会長より >

- ・モロッコ地震発生に伴う救援金寄付について

< 高山市青少年育成市民会議より >

- ・岐阜県青少年健全育成県民大会の開催について

< 会報 >

- ・高山 R C
- ・下呂 R C

## ● 米山記念奨学委員会

### 委員長 水口 邦博



## ● 米山記念奨学生

### 日中の架け橋

高山中央ロータリークラブの皆様、こんにちは。

本日、卓話の機会をいただき、誠にありがとうございます。

私と初めて会う方がいらっしゃると思いますので、まず自己紹介をさせていただきます。私は米山記念奨学生のボウ セイユウと申します。名

前の漢字を日本語で読むと、「まさお」となり、皆様からは時々「まさお」と呼ばれています。中国から参りました。昨年の 4 月から二年間、岐阜東ロータリークラブで大変お世話になっております。米山奨学生としての日々を過ごし、早いもので一年半が経過しました。この一年半、ロータリアンの皆様には、多大なお世話になりました。本日、この卓話の機会を借りて、皆様に、心から感謝申し上げます。

私の出身地は中国の山東省です。山東省は、中国の東部に位置し、北京の下、上海の上にあたり、日本と海を挟んで隣接しています。この地域は、儒教の発祥地として著名で、春秋時代の中国の思想家、孔子と孟子がここから出身しています。また、著名な「孫子の兵法」の著者である孫武も山東省の出身です。経済的には、広東省に次ぐ中国第 2 位の経済力を持ち、渤海湾経済圏を構成しています。山東半島沿岸の都市、青島や威海などは、韓国や日本からの投資を引き寄せ、地域経済のけん引役となっています。さらに、山東省は日本に野菜を輸出する地域としても知られています。

私は 2018 年 10 月に中国から日本に渡りました。修士と博士の学位を取得するために岐阜大学に通い、現在は岐阜大学工学研究科で博士 3 年生として学んでおり、専門分野は有機廃棄物のエネルギー再生利用です。

2022 年 4 月から米山奨学生としての日々を歩んでおり、この一年半は私の留学生活の中でも最も充実した期間であると自負しております。日本へ来たばかりの頃、修士課程への進学を果たしながらアルバイトをしなければならぬ状況にありました。新しい環境での生活、学業、研究、そしてアルバイトとの両立は、予想以上に厳しいものでした。そんな時、月に 14 万円のロータリー米山奨学金の支援を受けることで、学業と研究に専念できる環境を築くことができました。

米山奨学金は、経済的な支援だけでなく、他の奨学金と異なる特別な要素を含んでいることが、特に印象的でした。通常、他の奨学金は奨学金を受給する学生の銀行口座に直接振り込まれる仕組みですが、米山奨学金は独自の特徴を持っており、毎

### 房 正雄 様



月の例会に出席し、その際に手渡しで奨学金が授与されるという方式を取っています。この方式により、日本の異なる業界で活躍している優秀なロータリアンの皆様と毎月の例会に出席し、また様々な親睦会に参加する機会を通じて、皆様との交流を深めました。例会や様々な親睦活動では、皆様の温かさ、人生観、仕事への情熱、人間関係の構築、そして奉仕精神などを感じることができ、皆様から多くの学びを得ました。また、皆様のお話を熱心に聞き、徐々に皆様の考えや価値観を理解してまいりました。これらの経験を通じて、皆様が共通の目標を共有し、社会奉仕活動を実現しようとされていることが明確に伝わりました。ただ、私には不足点もあります。人と話すときは緊張しますし、日本語を喋るのが難しいかもしれません。また、うっかり皆様のお名前を間違えてしまうことも心配ですし、失礼にならないか心配でいっぱいです。しかし、皆さんの理解、寛容さ、そして忍耐に感謝しております。

私たちは留学生として、実際には学業、アルバイト、アパートの三角の中でぐるぐる回っています。様々な知識を通じて成長しましたが、まだ何か足りないと感じています。それは、日本社会やその中で生活する人々との交流の機会が不足していることだと考えています。米山奨学生として選ばれ、ロータリアンの皆様との出会いを通じて、皆様が自身の事業で成功しながらも奉仕活動を積極的に行っている姿勢に触れました。さらに、異文化交流や国際関係について深く考える機会も得ました。これらの経験は非常に価値のあるものであり、私の成長に寄与しています。

ただ、私は不安なこともたくさんあります。この奨学生事業では、月に14万円という高額な奨学金を提供していただき、また多くの貴重な経験と機会を与えていただいています。私はこれにどう報いるべきか、実は常に私の使命を考えています。何度も米山奨学金の募集要項を読み返しました。その中に『ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます』と書いてあります。これを見ると、私の面接の記憶が蘇ります。応募時に最初に提出した小作文の中に、「日中の関係には歴史的な政治的な複雑さが存在しますが、私はその架け橋として活躍し、国際平和への貢献を目指したい」という一文がありました。面接の際、米山奨学会の地区の委員長である長谷川さんが私に尋ねた質問の一つは、「中国と日本の関係についてどう考えていますか」でした。私は「国家間には利害がからむこともありますが、人と人との関係には温かさがあると信じています」と答えました。もちろん、私は中国人として日本人

の人々との交流において、政治的な立場の違いが時折問題になることもあると認識しています。例えば、中国政府や政策について理解しきれないことがあります。私は中国人である以上、個人の政治的な見解に基づいて他の人を嫌うつもりはありません。むしろ、異なる政治的な立場や視点を尊重し合うことが、対話と相互理解を深めるために非常に重要だと考えています。

実は私は日本に来てから、今まで日本人から温かいおもてなしを感じてきました。初めて来た時は、分からないことだらけで、研究室の日本人の先輩や教授は研究や日常生活、そして日本の文化や人の考え方について多くのことを教えてくれました。外出中に迷子になることがあると、周りの日本人の方々が親切に道案内をし、目的地まで案内してくれます。その温かさ本当に感動しました。ロータリークラブの奨学生カウンセラーの林さんは、生活の中でお父さんのように、困ったことについて気にかけてくれる存在でした。そして、ロータリークラブの皆様も私のお世話をよくしてくれました。私にとって、日本におけるもう一つの「家」のような存在です。日本での教育は学術研究のマインドや科研能力を身につけるのに役立ち、日本での生活は私を成長させ、自立させるのに役立ち、日本人は私に多くの温かさとお助けを提供してくれました。だからこそ、私は心から日中の友好的な発展に一つの架け橋になりたいと思っています。

その通り、私の周りには、日中の友好と協力の架け橋として活動している多くの方がいます。私の大学院の指導教員先生は、かつて同じ研究室で働いた中国人の同僚であり、現在は中国の大学で教授をされています。彼らは長い間友情を築いており、数十年たっても連絡を取り合っています。また、先生は毎年、中国へ学術指導交流に訪れ、日中の協力と友情を強化しています。さらに、私の叔父さんは日本の国立研究所で働いており、叔母さんは今日本で中国語教師を担当しており、中国の文化などを日本人の子供たちに教育しています。このような個々の取り組みが、日中の友好関係を深める上で重要な一翼を担っています。残念ながら現在は日本と中国の関係が日々緊張していますが、こうした個人の努力と交流がより重要になるべきだと思います。

今年の8月5日と6日の2日間、第3回米山学友会による世界大会は、「再会 in 関東」というテーマのもとで開催されました。この素晴らしいイベントには、約1200人のロータリアン、学友、奨学生などが集まり、私と長谷川委員長と同期の四日市大学の奨学生3人で、一緒に参加しました。この大会には、ほぼ米山記念奨学生として卒業した学友の方々が参加しており、日本国内に33のグ

ラブ、海外に 10 のクラブがあることから、ロータリー米山クラブの国際平和への献身が伺えます。この 2 日間は、卒業生がほぼ参加し、異なるバックグラウンドを持つ人々が一堂に会し、親睦を深め、新たな友人を作る絶好の機会でした。特に、世界各地からの学友の素晴らしい講演に触れ、感銘を受けました。さまざまな職業の方が参加し、これまでの日本と母国でのビジネス、旅行業、介護業などについて共有しました。特に、中国出身の学友先輩方や他の学友の方々の講演を聞いて、友愛の橋を築く使命感が一層強まりました。この大会を通じて、ロータリー米山クラブが日本だけでなく、他国でも平和と国際理解の推進に取り組んでいることを強く実感しました。

将来、私はできる限り、いつでも中国と日本との架け橋となり、中国と日本の交流を促進し、そして平和の実現に向けて努力したいと思っています。

米山奨学事業を通じて、米山梅吉さんの生涯に触れ、多くの感銘を受けました。彼が少年の頃、父を早くに亡くし、母親が一人で彼を育てました。それにもかかわらず、留学生活で勉学し、自身の事業を成功させながら、社会奉仕を行う姿勢は、「他人への思いやりと助け合い」の言葉だけでなく、彼の「大愛」の心を示しています。私たちの留学生活は、現代の快適な生活条件の中で過ごしており、彼の時代とは比較になりませんが、私たちにとっても「自分のために」から「他の人のために」、さらには「世界のために」奉仕する精神、「大愛」が非常に重要だと思います。留学するのは国境や政治の壁を越え、世界の人々と心を通わせ、理解し、国際貢献と平和への意識を高める貴重な機会です。「ロータリー精神」とは、国境や政治問題、歴史問題を超越し、そして将来的には宗教や紛争問題さえも超えて、人類が共有すべき基本的な価値観を追求する精神です。困難を乗り越えることなくして、真の絆は育まれません。したがって、米山奨学事業の使命を再確認し、その精神を継承していくことが重要だと信じています。

以上でございます。最後まで、どうもありがとうございました。

### <ニコニコ BOX>

米山記念奨学生 房 正雄さんのご来訪を歓迎致します。本日は卓話をよろしくお願い致します。  
**理事役員一同**

房 正雄さん、ようこそ高山へ。本日はよろしく  
お願い致します。  
**水口 邦博**

家内の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。  
**都竹 太志**

### <11月のお祝い>

#### <会誕生日>

高原 清人	S 3 2 年 1 1 月 2 日
橋本 修	S 2 3 年 1 1 月 1 2 日
山本 辰男	S 2 7 年 1 1 月 2 1 日
村井 繁喜	S 4 1 年 1 1 月 2 5 日
清水 幸平	S 2 6 年 1 1 月 2 6 日

#### <夫人誕生日>

都竹 太志	あやこ	1 1 月 4 日
平林 英一	紀子	1 1 月 6 日
高橋 厚生	佳美	1 1 月 9 日
松之木映一	洋子	1 1 月 2 6 日

#### <結婚記念日>

高原 清人	S 5 6 年 1 1 月 2 日
直井 宏文	H 2 4 年 1 1 月 4 日
足立 常孝	S 5 3 年 1 1 月 8 日
山本 辰男	S 5 3 年 1 1 月 1 4 日
渡辺 甚一	S 5 5 年 1 1 月 1 5 日
和田 良博	S 5 4 年 1 1 月 1 7 日
村井 繁喜	H 7 年 1 1 月 1 9 日
大原 誠	S 5 8 年 1 1 月 2 0 日
周 信夫	H 5 年 1 1 月 2 3 日



本日 11/6 妻の誕生日でお花をありがとうございました。先月 10/30 は結婚記念日で重ねてありがとうございました。年を感じながら何とか楽しく過ごしています。  
**平林 英一**

岐阜病院で心臓のアブレーション手術をする予定でしたが直前に肺炎が見つかり久美愛病院に 2 週間入院し内緒にしていたのですが何人の方よりお見舞いを頂きありがとうございました。肝心のアブレーション手術はいつになるか分かりません。  
**伊藤 正隆**